

法文学部の教育目標・ポリシー

1 入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）

法文学部は、情報化、国際化および地域の変化に伴う諸問題に適切に対処できる現実的な問題解決能力をもつ人材の育成を教育目標にしています。

1. 求める人材像

- (1) 人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力を備えている人
- (2) 地域社会と世界の人間・文化・社会に関心をもつ人
- (3) 現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得に意欲のある人
- (4) 大学で自分の将来および可能性を探究する意欲のある人

2. 入学前に身に付けておいて欲しいこと

入試で課されている、以下のような教科を中心とした幅広い基礎学力。

- (1) 国語の基礎学力
- (2) 外国語の中でも特に英語の基礎学力
- (3) 地歴・公民における社会科学の基礎知識
- (4) 数学の基礎学力
- (5) 理科における自然科学の基礎知識
- (6) その他学科の特色に応じて求められる能力

3. 入学者選抜の基本方針

- 一般選抜（前期日程）においては、大学入学共通テスト及び個別学力検査の総合得点に基づいて、人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力について総合的に評価します。
- 一般選抜（後期日程）においては、大学入学共通テスト及び個別学力検査の総合得点に基づいて、人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力、地域社会と世界の人間・文化・社会への関心、現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得への意欲、大学で自分の将来および可能性を探究する意欲について総合的に評価します。
- 学校推薦型入試Ⅱでは、大学入学共通テストの成績、面接または小論文の総合得点に基づいて、人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力、地域社会と世界の人間・文化・社会への関心、現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得への意欲、大学で自分の将来および可能性を探究する意欲について、総合的に評価します。
- 総合型選抜（自己推薦型選抜）では、大学入学共通テスト、講義型試験及び面接（心理学コースのみ）の総合得点に基づいて、人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力、地域社会と世界の人間・文化・社会への関心、現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得への意欲、大学で自分の将来および可能性を探究する意欲について、総合的に評価します。
- 私費外国人留学生選抜においては、独立行政法人日本学生支援機構が実施する日本留学試験、

個別学力検査により、地域社会と世界の人間・文化・社会への関心、現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得への意欲、大学で自分の将来および可能性を探求する意欲について、総合的に評価します。

- ・国際バカロレア選抜では、書類審査及び面接（法学コース及び地域社会コース・経済コースのみ）により、人文社会科学を学ぶ上で必要となる幅広い基礎学力、地域社会と世界の人間・文化・社会への関心、現実に即した問題解決能力・言語能力・情報処理能力の習得への意欲、大学で自分の将来および可能性を探求する意欲について、総合的に評価します。

*各学科・コースの入試ごとの詳細なアドミッション・ポリシーについてはこちらをご覧ください：<https://kadai-houbun.jp/exam-2-2/#admission>

2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

鹿児島大学法文学部は、学位授与の方針に掲げる能力を備えた人材を育成するために、以下に示す方針に基づいて、初年次から卒業まで系統性のある教育課程（カリキュラム）を編成・実施します。

1. 初年次から卒業まで系統性のある教育課程の編成

- (1)人文社会科学に関する幅広い教養と高度な専門的知識及びこれらに基づく論理的・科学的思考力を育むために、「基礎」・「活用」・「実践」の三つの領域による体系的な教育プログラムを提供します。
- (2)人文社会科学の各学問分野を学ぶための総合的な見方と基礎的な知識を身につけるために、法文スタンダード科目及び学科共通の「基礎」領域科目を配置します。
- (3)人文社会科学の各学問分野に関する幅広い教養と高度な専門的知識を育み、人と社会、人と文化に関する論理的・科学的思考力を身につけるために、コースごとに「活用」領域科目を配置します。
- (4)人文社会科学の知識を踏まえ、地域社会や国際社会における諸課題を適切に解決するための判断力を身につけるために、コースごとに「実践」領域科目を配置します。
- (5)自ら習得した知識を自らの考えに即して他者に説得的に伝える能力を身につけるとともに、南九州特有の歴史・文化・社会や高度な専門的職業につながる分野についての知識を習得し、現場を熟知し、他者と協働し実践できる能力を備え、現場、地域社会、及び国際社会に積極的に貢献するために、法文アドバンスト科目を配置します。

2. 目的・目標に応じた方法による教育の実施

- (1)人文社会科学に関する知識・能力を育むため、授業科目を三領域に区分して年次配置を行うとともに、学生に対してカリキュラム・マップを提示することにより、卒業までの履修期間における体系的効果的な学修を促す教育を行います。

(2)地域社会や国際社会に貢献できる市民を育成するため、学際的実践的な知識・能力を習得できる科目群を配置し、学生の自主的な学修を促す教育を行います。

3. 厳格な成績評価の実現

評価の客観性及び厳格性を確保するため、明確な成績評価方法と基準を策定するとともに、学生に対して成績評価基準をあらかじめ明示し、当該基準に基づき厳格な評価を行います。

3 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

鹿児島大学法文学部は、全学の学位授与の方針及び法文学部の教育目標に鑑み、以下の能力を身につけ、所定の単位を修得した者に学士の学位を授与します。

1. 人文社会科学の基礎的知識を総合的に活用して、文系理系を超えた幅広い教養と倫理観を身につけ、地域社会の課題に創造的に取り組むことのできる能力
2. 社会や文化に関する諸問題について論理的・科学的に思考することのできる能力
3. 人文社会科学の知識を踏まえ、地域社会や国際社会における諸問題に対し適切な解決を提案できる能力
4. 習得した知識を文脈に応じて伝達することのできる能力
5. 南九州特有の歴史・文化・社会についての知識を専門的分野で活用することのできる能力